

さまざまな産業分野の発展に貢献しながら
オンリーワンの技術で経編の可能性を切り拓く。



1 立体的な生地を編みだすことができるダブルラッセル機 2 糸をチェックするオペレーター 3 製造された生地は、ファッション衣料、ランニングシューズのメッシュ素材、化粧パフ、食器洗剤スポンジのたわし部分など、さまざまな製品に使われている

育まれてきたものづくりの技と心を
次世代に伝え、新たな道に挑む。

八田経編は、経編(たてあみ)生地を、開発・製造する会社です。1949年に鯖江市で、婦人手袋用の生地製造からスタートしました。あわら工場は1970年、現在のあわら市で第二工場として操業を開始しました。複雑で立体的な構造の生地を編めるダブルラッセル機を導入し、自動車用シート向けセンターカットペロアの開発・製造を手掛け、その厳しい品質要求に応えてきました。

そこで培ったダブルラッセル・センターカット技術を核に、コレクションブランド向けの高感性素材や、ランニングシューズ

に使われる高通気アッパー素材、フィルターなどの産業・生活資材など、幅広い分野の生地を開発、提供してきました。

このようにものづくりの技術が磨かれ、受け継がれてきた背景には、ひたむきに研究と開発を重ねてきた社員の創意工夫があります。また、近年の技術指導では、実践しながら身に着けるOJTはもちろん、外部での専門的研修の機会も積極的に設けています。人材育成を図りながら経編生地の可能性を追求し、新たな市場や用途の開拓に挑み続けています。

八田経編のヒトにときめき!

わたしの
お仕事

自分がやると決めた事は最後までやる!
出来た時の達成感に大きなやりがいを感じます。

ランニングシューズや車のシートなど、私たちの身近にある物に経編の生地が使われている事に魅力を感じ、この会社に入社しました。天然繊維の綿や化学繊維のナイロン、ポリエステルなど様々な種類の糸を使った経編生地の開発に携わっています。柄や肌触りの良さなど、新しい素材の開発には同じ仕事の内容は一つもありません。入社当初は何もわからなかったのですが、先輩の丁寧な指導のもと、できなかった事ができるようになっていくことに喜びとやりがいを感じています。



出島さんのここにときめき!

人当たりがやわらかく、職場の雰囲気を和ませてくれています。出島さんは、自分で考えて調べたり、先輩にどんどん質問し学んでいくなど向上心が高く、将来期待しています。今後も知識や経験の引き出しを広げて、生地設計などにも携わってもらいたいです。(上長)



出島 優斗さん
あわら市出身
勤続1年半
開発課

Question & Answer



代表取締役社長
八田 嘉一郎さん

あわらのココが好き

トリムパークかなづ

Q 仕事にはどんな人を求めていますか?

A 交替勤務をベースに機械を扱う職場なので、安全のためにも、規則を守る人であることが一番大事です。加えて、多様な分野に挑戦する会社ですから、いろいろな個性を持った人に来ていただきたいです。

Q 就職活動中の学生のみなさんへ

A 自分に足りない力を身に付け、人間として成長していくためには、身体を鍛える習慣を持つのが良いでしょう。運動によって心と思考が安定し、失敗しても次へ挑戦するという意欲につながります。

こんな職場です

気持ち良く働ける
クリーン&快適な環境



空調設備が整った工場は一定の温度に保たれており一年を通じて快適な環境です。人材育成に力を入れており、ゼロから技能・技術・知識を習得でき、自身の成長を実感できる仕組みを整えています。



八田経編株式会社 あわら工場

〒910-4131 あわら市東善寺5-10
TEL.0776-73-1291 FAX.0776-73-7671
http://www.8ta.co.jp/ info@8ta.co.jp

設立:1965年/代表:代表取締役社長 八田 嘉一郎/資本金:4,500万円/売上:6億4,000万円(2021年1月期)/従業員数:80人/平均年齢:41歳/勤務地:あわら市、鯖江市/勤務時間:日勤8:30~17:00、その他三交替勤務時間帯有/福利厚生:社保完備、制服支給、給食代補助、ヘルスケアサポート、自社製品購入補助制度、軽音楽同好会等

中学生
職場体験
受入れ企業

インターン
受入れ企業

下のコードから
企業の公式サイトを
check!

